

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【公表番号】特表 2018-504394 (P2018-504394A)

【公表日】平成 30 年 2 月 15 日 (2018.2.15)

【年通号数】公開・登録公報 2018-006

【出願番号】特願 2017-534608 (P2017-534608)

【国際特許分類】

C 0 7 F 7/22 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 F 7/22 E

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 2 日 (2020.3.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

0.3%未満のレベルの二塩化ジオクチルスズ及び 0.1%未満のレベルの塩化トリオクチルスズを含む三塩化モノオクチルスズを製造する方法であって、前記方法が、以下の工程：

(1) 塩化モノオクチルスズを含み、ジオクチルスズ化合物及び／又はトリオクチルスズ化合物を含む塩化有機スズの混合物を、ハロゲン化物塩を含有する水相に接触させる工程であって、前記工程が、任意選択的に、有機溶媒の存在下で実施され、塩化モノオクチルスズを含む水相と、ジオクチルスズ化合物及び／又はトリオクチルスズ化合物の殆どを含有する有機相を得る工程；

(2) 前記水相を、前記有機相から分離する工程；

(3) 前記水相を有機溶媒で洗浄することにより、望ましくない副生成物から前記水相を精製する工程；及び

(4) 前記水相から三塩化モノオクチルスズを回収する工程、を含む、方法

【請求項 2】

前記塩化有機スズの混合物を、ハロゲン化物塩を含有する水相に接触させる工程 (1) が有機溶媒の存在下で実施される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記塩化有機スズの混合物を、ハロゲン化物塩を含有する水相に接触させる工程 (1) で使用される前記有機溶媒が n - ヘキサン、n - ヘプタン及びジ - n - ブチルエーテルからなる群から選択される、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記水相を洗浄する工程 (3) で使用される前記有機溶媒が、n - ヘキサン及び n - ヘプタンからなる群から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記水相を洗浄する工程 (3) で使用される前記有機溶媒が、n - ヘキサン及び n - ヘプタンからなる群から選択される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記水相を洗浄する工程 (3) で使用される前記有機溶媒が、n - ヘキサン及び n - ヘ

ボタンからなる群から選択される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

前記塩化有機スズの混合物を、ハロゲン化物塩を含有する水相に接触させる工程 ( 1 ) が、20 から 50 の温度で実施される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記塩化有機スズの混合物を、有機溶媒の存在下で、ハロゲン化物塩を含有する水相に接触させる工程 ( 1 ) が、20 から 50 の温度で実施される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 9】

前記塩化有機スズの混合物を、n - ヘキサン、n - ヘプタン及びジ - n - ブチルエーテルからなる群から選択される有機溶媒の存在下で、ハロゲン化物塩を含有する水相に接触させる工程 ( 1 ) が、20 から 50 の温度で実施される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 10】

前記塩化有機スズの混合物を、ハロゲン化物塩を含有する水相に接触させる工程 ( 1 ) が、20 から 50 の温度で実施される、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 11】

前記水相を有機溶媒で洗浄する工程 ( 3 ) が、20 から 50 の温度で実施される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記水相を有機溶媒で洗浄する工程 ( 3 ) が、20 から 50 の温度で実施される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

前記水相を有機溶媒で洗浄する工程 ( 3 ) が、20 から 50 の温度で実施される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 14】

前記塩化有機スズの混合物を、n - ヘキサン、n - ヘプタン及びジ - n - ブチルエーテルからなる群から選択される有機溶媒の存在下で、ハロゲン化物塩を含有する水相に接触させる工程 ( 1 ) が、20 から 50 の温度で実施される、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 15】

前記水相を有機溶媒で洗浄する工程 ( 3 ) が、20 から 50 の温度で実施される、請求項 14 に記載の方法。